

2. 第41回（2017年度）地域安全学会研究発表会（秋季）プログラム

(1) 査読論文の発表者の方へ

- (1) 査読論文（研究発表会論文）は、「査読論文（研究発表会論文）投稿規程」に基づき、投稿・査読に加えて発表会当日の発表及び討論を一体のものとして行うことで、始めて審査付きの論文と見なすことができるものです。必ず、発表、討論への参加をお願いします。
- (2) 発表者の持ち時間は、発表12分、質疑3分の計15分です。
- (3) 本年度も査読論文発表会の際に学術委員会による審査を行い、論文奨励賞を選定します。審査は、論文の新規性、有用性、完成度、発表の態度及び質疑応答の内容等を考慮して行います。なお、2017年度論文賞および優秀論文賞については、地域安全学会論文集 No. 30（電子ジャーナル：2017年3月発行済み）および地域安全学会論文集 No. 31（研究発表会査読論文：2017年11月発行予定）をあわせて審査し、2018年度総会にて受賞者を発表します。
- (4) 研究発表会2日目（11月11日（土））に開催される懇親会において、論文奨励賞の受賞者を発表します。査読論文発表者は可能な限り懇親会への出席をお願いします。

(2) 一般論文（ポスター発表）関係者の方へ

一般論文の発表方法はポスター発表のみとなっております。

- (1) ポスター発表会場：3F 会議室
- (2) ポスター設営は、11月10日（金）12時00分～17時00分または11日（土）9時40分～となっております。また、ポスター発表の報告時間帯は、11日（土）（2日目のみです）の12時00分～14時15分（コアタイム12時45分～14時15分）となっております。ポスターの撤去は、11日（土）16時30分までに行ってください。ポスター展示用のパネルは幅90cm×高さ180cmの大きさのものを用意します。説明資料は各自画鋸、セロテープなどで貼り付けてください。パソコンなどを置きたい方は、奥行き40cmのテーブルを用意します。その場合、テーブルの高さ約60cm分はパネルのスペースが少なくなります。テーブルの使用の場合は、準備の都合がありますので、事前に下記研究発表会担当まで申し込んでください。なお、電源の延長コード（約5m以上）は各自で用意してください。
- (3) 一般論文発表については、表彰委員会において審査をおこない、優秀発表賞を選定いたします。そのため、コアタイムには必ず発表者がついて説明をおこなってください。なお、研究発表会2日目（11月11日（土））に開催される懇親会において、優秀発表賞の受賞者を発表しますので、一般論文発表者は可能な限り懇親会への出席をお願いします。

その他、疑問点などございましたら、下記研究発表会担当までご連絡ください。

研究発表会担当：常葉大学大学院環境防災研究科 池田浩敬

TEL:0545-37-2107 FAX:0545-37-2127 E-mail: ippan-aki@isss.info

(3) 査読論文発表プログラム

11月10日(金)

開会式 10:35-10:45

第一セッション

司会 越村 俊一(東北大学災害科学国際研究所)

10:45 水産都市における災害時の電力供給に関する研究

横田 英靖(横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府 博士後期課程)

11:00 液状化による住宅の傾斜が住民の健康障害に及ぼす影響 -2016年熊本地震の事例-

芹川 由布子(金沢大学大学院自然科学研究科)

11:15 地域ごとの津波避難計画の計画内容の充実度の評価 -中部地方の海岸線等を有する市町村を対象とした策定方法からの評価-

大和 裕也(加賀市役所・金沢大学大学院博士後期課程)

11:30 阪神・淡路大震災における建設仮設団地の空間分布に関する研究

越山 健治(関西大学 社会安全学部)

11:45 ニュージーランドにおける災害対応の体系とその特性

梅本 通孝(筑波大学システム情報系社会工学域)

昼食 12:00-13:00

特別セッション1 文科省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」 13:00-14:00

司会 立木 茂雄(同志社大学社会学部)

13:00 地震発生確率とリスク認知 -地震動予測地区の確率表現に関する調査研究

齋藤 さやか(琉球大学 研究推進機構 戦略的研究プロジェクトセンター)

13:15 VR(仮想現実)を用いた地震火災時の市街地延焼からの避難行動特性

小林 大吉(東京消防庁 四谷消防署)

13:30 災害伝承は津波避難行動を誘引したのか -陸前高田市における質問紙調査を用いた事例分析-

佐藤 翔輔(東北大学災害科学国際研究所)

13:45 宮城県における震災学習プログラムに関する現状分析 -東日本大震災の発生から6年間における震災伝承の特徴と課題-

浅利 満理子(公益社団法人みらいサポート石巻)

休憩 14:00-14:15

特別セッション2 文科省「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」 14:15-15:30

司会 越山 健治(関西大学社会安全学部)

14:15 平成28年熊本地震における福祉避難所での要配慮者の受入状況-受入開始時期と受入期間-

岡田 尚子(神戸大学都市安全研究センター)

14:30 地区防災計画の策定が地域コミュニティの防災力に対する成果と課題に関する研究

齋藤 貴史(筑波大学大学院システム情報工学研究科博士前期課程)

14:45 住宅・土地統計調査データを用いた東京都区部における住宅倒壊危険性の変遷

村尾 修(東北大学災害科学国際研究所)

15:00 観光客を考慮した藤沢市片瀬西浜・鵜沼地区における避難時間を尺度とした津波危険度の軽減効果の検討

姜 大原(パシフィックコンサルタンツ)

15:15 防災教育施設での児童の防災体験学習が児童とその保護者に与える効果に関する研究 -本所防災

館を対象として-
松賀 信行 (東京消防庁)

休憩 15:30-15:45

第二セッション

司会 関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

- 15:45 原発被災地における居住者の帰還プロセスの実態とその背景 ー福島県双葉郡川内村の事例ー
田中 正人 (追手門学院大学 地域創造学部)
- 16:00 東日本大震災における駅を中心とした復興まちづくりに関する研究 ー三陸鉄道を対象としてー
小池 潤 (株式会社地域まちづくり研究所)
- 16:15 想定首都直下地震後の応急居住広域化の可能性と政策的検討 - 住宅喪失世帯・賃貸空家の地震被害・仮設用地データの算定比較を基に -
佐藤 慶一 (専修大学ネットワーク情報学部)
- 16:30 指定避難所以外に避難者が発生した場合の対応に関する研究 ー熊本地震における益城町を事例としてー
荒木 裕子 (公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)
- 16:45 借上げ仮設を主体とした仮設住宅供与および災害ケースマネジメントの意義と論点 ー東日本大震災の研究成果を応用した熊本市におけるアクションリサーチを中心にー
菅野 拓 (公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)

11 月 11 日 (土)

第三セッション

司会 佐伯 琢磨 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)

- 09:30 開発途上国の洪水と貧困の関係性に関する研究: ミャンマーでの地区レベルにおけるケーススタディ
川村 元輝 (東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻)
- 09:45 犯罪多発地点の予測に基づく防犯パトロール経路に関する提案
野 貴泰 (警察庁)
- 10:00 不確定な災害情報受信時の行政対応に関する研究
本塚 智貴 (公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)
- 10:15 応急期の生活支援情報の提供における Lアラートの利用実態とその評価 ～熊本地震での事例から～
宇田川 真之 (公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)

休憩 10:30-10:45

第四セッション

司会 永松 伸吾 (関西大学社会安全学部)

- 10:45 東日本大震災後における住宅再建地の整備状況にみる地域の災害リスク形成に関する研究 ー岩手県陸前高田市と宮城県気仙沼市を例にー
上田 祐司 (神戸大学大学院 工学研究科 修了生)
- 11:00 病院における事業継続マネジメントの導入方法に関する研究
若林 佑介 (早稲田大学大学院 創造理工学研究科 経営デザイン専攻)
- 11:15 災害時における市町村の窓口業務継続に関する研究
阪本 真由美 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
- 11:30 緊急対応・応急対応期での自治体間の人的応援における応援自治体 (拡張型組織) の特性 ー熊本地震時における神戸市からの職員派遣の事例からー

本莊 雄一 (兵庫県立大学)

- 11:45 退職自衛官の自治体防災関係部局への在職状況と課題 本人および自治体防災関係部局への郵送質問紙調査の分析を通して
中林 啓修 (公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)

昼食・ポスターセッション 12:00-14:15

休憩 14:15-14:30

第五セッション

司会 秦 康範 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)

- 14:30 機械学習を用いた地域防災活動の評価モデルの自動生成方法に関する研究
崔 青林 (国立研究開発法人防災科学技術研究所)
- 14:45 音情報解析による地震時室内被害状況のリアルタイム機械認識
中嶋 唯貴 (北海道大学大学院工学研究院)
- 15:00 大学が支援した寝屋川市立第八中学校における 3 年間の防災学習 —3 年間で生徒の自発的行動を生み出せるか—
池内 淳子 (摂南大学 理工学部建築学科)
- 15:15 「洪水カルテ」による地区危険度評価手法の提案
栗林 大輔 (国立研究開発法人 土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター)

休憩 15:30-15:45

第六セッション

司会 丸山 喜久 (千葉大学大学院工学研究科)

- 15:45 数値標高モデルによる経験的な土石流氾濫域の予測手法の都市域に対する適用性の検討
三浦 弘之 (広島大学 大学院工学研究科 建築学専攻)
- 16:00 2016 年台湾高雄美濃地震と台南市の地盤震動特性
三木 拓人 (京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻)
- 16:15 同一地域メッシュ内における強震動の高密度予測 —石垣島東方沖の想定地震による沖縄県石垣市街地を例として—
大川 雄太郎 (大阪大学大学院工学研究科)
- 16:30 常時微動計測に基づく南海トラフ巨大地震における JR きのくに線沿いでの地震動の評価
秦 吉弥 (大阪大学大学院工学研究科)
- 16:45 津波避難困難時間に影響を及ぼす地震動の周波数帯域に関する基礎的検討
湊 文博 (大阪大学大学院工学研究科)

終了 17:00

- 18:00 懇親会 (論文奨励賞の発表)